

# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2006年

7月号

平成18年6月25日発行  
通巻91号

◆発行◆

514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターバレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス秋野 ●桑名市●特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市●四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市●市民活動情報ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町市民活動室連絡協議会  
【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会  
【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店  
【ショッピングセンター】ジャスコ各店／津サティ  
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／齋宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレんてみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町村役場

## 高卒資格をあきらめないで 若年無業者を生まないための高校学齢の不登校生、高校中途退学者、 無就学者支援ネットワーク事業—チャレンジスクール事業—

三重県内の高校不登校生、1,006名、中途退学者、1,052名(平成16年度文部科学省発表『生徒指導上の現状について』調査より)

これは学校との不適合から不登校になったり、中途退学を余儀なくされる高校生の数です。またこの数字以外にも、小、中学校からの不登校のために高校に進学することもできずに引きこもりになっているケースも考えられます。こうした無就学者や中途退学者の増加は若年無業者につながりやすく、行き場を失った若者たちがさらに自己否定感や社会からの疎外感を強めてしまっているのではないのでしょうか。こうした若者たちに対する支援の必要性はますます高まりつつあるのに義務教育でないという理由で小中学生に対する「適応教室」のような公的支援がないのが現状です。

私たちNPO法人チャレンジスクール三重はこの若者たちに学習と生活の場を提供することをミッションとして昨年度より教育活動を行ってきました。彼らと一緒に過ごしていると既成の学校という枠から外れてしまった生徒たちこそ、もう一度一緒に時間を共有し、彼らの前向きな人生を応援する学校の外の教師が必要なのではという思いを強くします。

しかし現在97.3%(三重県16年度中学卒業生)という高校進学率、冒頭で挙げた数字、そして高卒資格を持たないことがその後の人生にかなり不利益を及ぼすという現状を考えるとこの問題はとうていNPOだけで取り組める問題ではないと考えます。学校、行政、地域NPO、教育専門機関がそれぞれの特性を生かして連携し、支援を必要としている若者たちをサポートし自立を見守る支援体制を早急に作ることが、今私たち大人が子どもたちとこれからの社会のためにできることなのではないでしょうか。

県との協働事業として事業構築の過程や成果を公開し、公共の取り組みとして進めていきます。皆様からのご意見やご協力をお願いします。

(文責:特定非営利活動法人チャレンジスクール三重 代表理事 玉村典久)

## はじめの1歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

最近、行政と協働してNPO活動をしていた団体が、行政から注意をうけたとしょんぼりしていました。匿名電話が協働先の行政に掛かってきて、行政から活動を自粛するよういわれたそうです。相手に十分に説明していたのですが、迷惑はかけてすいませんと謝っていました。誰もが見て見ぬふりをしていた地域課題に取り組むNPOは、いわば「出る杭」ですから打たれることもよくあることです。価値基準は、人それぞれで違って当然です。美德をする人は自分の行いを隠し、周囲は陰で賞賛するのがあるべき姿と考える人もいます。良かれと思ってやったことが、思いがけない反発にあって戸惑うこともあります。多様性がある市民活動を評価できる社会は、多様な価値観が認められる社会です。活動の試行段階で何回か失敗し、なにもしないで終わっていくよりも、色々な意見を参考にしながら、自分たちのミッションに沿ってめげることなく活動を続けていくことが大切です。いまは出る杭でも、やがては社会を支える太い柱になります。活動を始めたときの想いが挫けそうになった時こそ支援をしてくれる人たちとの話し合いが大事です。三重県は、NPOを支援する組織が各地域にあります。活動をしている人同士のつながりが、いざというときに支えてくれる力になります。

三重県生活部NPO室 森下道大

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。





今年も三重県社会福祉協議会では、7月～12月の間で5回にわたり、ボランティアコーディネーターの養成研修を行います。(宿題あり!)

対象は県内でボランティアに関わる業務に携わって1～3年目くらいの方々です。講座内容の概略は(1)「ボランティア・ボランティアコーディネーター概論」を学び、(2)「相談」の技術を習得し、(3)「企画・プログラム」を立て、(4)「情報」を収集・整理し、(5)「今後の進行計画づくり」をしていく。といったものです。この中で特に(3)以降は、実際の業務の中で使えるものを題材にし、創りあげていきます。

普段から「やらなきゃいけないことがあるのだけど、なかなかつかかかれなくて…」と思っている方々、是非この機会を活かしてみてください。この講座を受けることで、つかかえていたものが取れること間違いなしです。取れるだけでなく、先生からアドバイスももらい、他の受講生からも意見をもらい、大きく発展することも間違いなし!

この内容に少しでも興味を持ってくださいましたら、三重県社会福祉協議会の三重県ボランティアセンターまでお問い合わせください。連絡先はコチラ→TEL:059-229-6634 FAX:059-229-6635 E-mail:mvc@miewel.or.jp

お持ちしております。

## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

#### ●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)海の達人(2)大野木博久(おのき ひろひさ)(3)津市河芸町東千里854番地の3/(1)NPO法人サルどこネット(2)鈴木義久(3)松阪市八太町578番地5  
(1)伊賀・水と緑の会(2)森本 博(3)伊賀市阿保1289番地の1/(1)健康・福祉・環境日本一をめざす市民会議(2)中西五洲(なかにし ごしゅう)(3)松阪市駅前田町51番地1/(1)伊賀の友(2)上田文司(3)伊賀市上野万町2334番地の1/(1)志摩ネットサポート(2)二宮和申(にのみや かずのぶ)(3)志摩市志摩町片田4番地23 (平成18年5月15日～平成18年6月14日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

木曾三川ごみの会(平成18年2月16日)/らいふ(平成18年5月1日)/日本ザ・チャレンジゴルフ協会(平成18年5月17日)/みんなのひろば(平成18年5月18日) (平成18年5月15日～平成18年6月14日届出分)

### 「ふりかえり会議」のコーディネーターをしてみませんか?—養成講座受講者募集—

県NPO室では、市民と行政による協働事業がどう行われたかを気づきあう「ふりかえり会議」を行ってきました。今回、「ふりかえり会議」の進行を担うコーディネーターの養成講座を開催します。協働について勉強したい方、「ふりかえり会議」について知りたい方、コーディネーターに関心のある方など、どなたでも受講できますので奮ってご参加ください。講座内容は協働に関する基本的な知識と「ふりかえり会議」の模擬体験です。なお、受講後、県の「ふりかえり会議」においてコーディネーターをお願いすることがあります。

●とき/7月25日(火)9:30～16:30

●ところ/みえ県民交流センター ミーティングルーム3・7(津市羽所町700番地) ●参加費/無料

●申込・問い合わせ先/三重県生活部NPO室(担当:若林・明石)  
Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

## イベントスケジュール

### ユニセフ写真展&フェアトレードカフェ

●とき/7月2日(日)

●ところ/アスト津3階交流スペース

【ユニセフ写真展「今、アフリカで起きていること」  
10:00～17:00

●内容/アフリカの人々が立ち向かっている現状と、ユニセフの取

組を紹介。

●主催/ユニセフ三重友の会(杉谷方) Tel.059-386-6881

【フェアトレードカフェ】11:00～16:00

【アフリカ裏側探検隊 第2弾ガーナ】14:00～15:00

●参加費/300円(アフリカの飲み物付)

●内容/ごぞんじガーナチョコレートの国。他にも知られていないガーナの魅力をご紹介します。

●主催/ESDin三重、NGOセンターみえ、フェアトレードコーナー抱

.....



### 青春キネマ館

### 歌謡映画特集

●とき・作品/時間は両作品共11:00～15:00～

7月15日(土)～21日(金)「いつでも夢を」

7月22日(土)～28日(金)「上を向いて歩こう」

●ところ/伊勢進富座 ●参加費/800円

●内容/青春キネマ館&キッズシアターとは大人には懐かしい日本映画を、子どもには親子で楽しめるアニメ作品などを「映画館」で見てもらおうという企画です。7月は歌謡映画特集。橋幸夫と吉永小百合が歌う主題歌が30万枚を超える大ヒットとなった「いつでも夢を」。坂本九のヒット曲を元にして作られた「上を向いて歩こう」では鑑別所から脱走した青年の一人を坂本九が演じ、吉永小百合、高橋英樹と共演します。ぜひ、2週続けてご来場ください。

●問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会  
Tel.0596-23-0839(受付時間19:00～22:00)

.....

### 第9回 全国食事サービス活動セミナー

●とき/7月16日(日)10:20～16:20

●ところ/女性と仕事の未来館(東京都港区芝5-35-3)

●参加費/会員5000円、一般5500円

●内容/人間総合科学大学教授・東京都老人総合研究所客員研究員である熊谷修さんによる基調講演「元気で長生きのために・老化を遅らせる食生活」のほか、講義「新しくなった介護保険のねらい・介護予防」、「介護予防に資する食事サービス」の事例報告などを行います。詳しくはホームページを。

●申込方法/参加募集リーフレットをホームページからダウンロード。

●申込・問い合わせ先/156-0054 東京都世田谷区桜丘4-13-21 老人給食協力会ふきのとう内 全国老人給食協力会  
Tel.03-5426-2547 Fax.03-5426-2548(月～金曜  
10:00～17:00) ホームページ <http://www.mow.jp>

.....



### 海からのメッセージ2006 in 鈴鹿

●とき/7月18日(火)～23日(日)10:00～16:00

●ところ/白子サンズ(鈴鹿市白子駅前9-20)1F北

アーケード催事場 ●参加費/無料(申込不要)

●内容/伊勢湾周辺の環境、ひいては地球環境を大切にすることを目的として開催します。展示(18～23日):伊勢



湾の環境や生きものに関する展示など。体験(22~23日):貝殻・流木アートづくり、魚のキーホルダーづくり、伊勢湾〇×クイズ&環境紙芝居、水の中の生きもの観察、環境実験など。

●問い合わせ先/海からのメッセージ2006in鈴鹿実行委員会(事務局:三重県農水商工部水産室) Tel.059-224-2584 Fax.059-224-2608 ホームページ(みえのうみ)http://www.sea.pref.mie.jp/



## きらめき亀山21~市民交流の日~ 亀山発!市民活動チャレンジ講座

第1回 亀山再発見!~こんな活動、あんな活動~

- とき/7月21日(金)19:30~21:30
- ところ/亀山市役所3階大会議室(亀山市本丸町577)
- 参加費/無料
- ※託児は1人につき200円。7月7日(金)までに要申込
- 内容/高齢者の生きがいづくりや地域の活性化を目的に荒れた土地を開墾して、自然薯を栽培し、特産化しようと取り組んでいる鹿伏兎山脈自然薯の会。車椅子駐車場の適正使用を目指すNPO法人グリーンアップルが活動内容を報告します。
- 申込・問い合わせ先/亀山市市民部市民参画協働室  
Tel.0595-84-5008 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp

## 障害者スポーツ指導員養成研修会(初級)

- とき/7月22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)
- ところ/三重県身体障害者総合福祉センター(津市一身田大古曾670-2) ●参加費/1000円 ●募集人数/60人
- 内容/障害者のスポーツ指導と活動を支援する人材の養成。(講義・実技)実技講師には、パラリンピック出場選手や県内障害者競技団体選手等を予定。日本障害者スポーツ協会公認の研修会です。対象は県内に在住または在学・在勤する18歳以上の方。全日程参加が条件。
- 応募締切/7月10日(月)必着(応募者多数の場合は先着順)

●申込方法/申込研修会名、住所、氏名、電話番号、勤務先名称(学生の場合は学校名)を記入のうえ郵送。

●申込・問い合わせ先/514-0113 津市一身田大古曾670-2 三重県身体障害者総合福祉センター経営企画チーム企画グループ Tel.059-231-0155 Fax.059-231-0356

平成18年度三重県国際理解教育教師研修会(JICA開発教育指導者研修・初級編)

## 国際理解教育 ちがうっていいな

- とき・ところ/時間はすべて10:00~16:00
- 7月24日(月)津市・勤労者福祉会館
- 8月7日(月)四日市市・三重県四日市庁舎
- 8月18日(金)鈴鹿市・三重県鈴鹿庁舎
- 8月21日(月)伊賀市・三重県伊賀庁舎
- 参加費/無料 ●募集人数/各30人(先着順)
- 内容/『共生』をメインテーマに国際理解教育の実践紹介やゲーム、ワークショップなどの紹介や、三重県国際交流員による『もっと世界を知ろう事業体験』など、国際理解教育に活用できるプログラムを紹介。対象は小・中・高校・盲聾養護学校教員、自治体関係者、NPO/NGO関係者、JICAボランティアOB・OG、大学生、一般です。
- 申込・問い合わせ先/県生活部国際室  
Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984  
E-mail kokusai@pref.mie.jp  
三重県JICAデスク(三重県国際交流財団内)  
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007  
E-mail jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp



## 世界民族音楽シリーズ インド古典舞踊 バラタナティヤム

- とき/7月29日(土)14:00開場 14:30開演
- ところ/三重県文化会館小ホール(津市一身田上津部田1234)
- 参加費/一般2000円 学生1000円



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

## カンボジアの自立支援に取り組むNPOとの連携~情報労連三重県協議会~

私どもNTT労組東海総支部三重事務室は、情報通信・情報サービス・通信建設など多職種の労働組合224団体と23万人の組合員が参加して

いる情報通信産業労働組合連合会(略称:情報労連)の三重県協議会の事務局を担い、活動を行っています。

全国47都道府県に県協議会がある情報労連では、各県協議会や隣接数県で構成されるブロック単位での活動を行っており、情報労連三重県協議会は愛知県、岐阜県、静岡県と共に東海ブロックを構成し、主なボランティア活動として、カンボジアの自立支援に取り組むNPO法人BOC(Bright smiles Of Children)との連携を行っています。

アジアの中でも最も貧しいと言われるカンボジア。戦争や内戦が続き、行政組織も確立しきれていない状況の中、子どもたちにとっては、その日をいかに生きるかが最大のテーマです。世界各国からさまざまな支援の手が差し伸べられていますが、支援物資が実際に子どもたちの手元に届くケースは少ないと言われています。また、カンボジアの子どもたちにとって一番必要なことは自立することであるにも関わらず、その機会を得ることは難しいものです。BOC(Bright smiles Of Children)はそのカンボジアで、現地の子どもたちが主役になれる活動に取り組んでいるNPO団体です。教育を身につけるための「ワットメイ学校(日本語教室)」や「フレンドシップセンター(英語塾)」を開設するほか、2006年2月には『子供センター』という孤児院を設立しまし

た。この孤児院の運営は、自らも孤児院で育ち、孤児院のことを自分たちが一番知っているからと名乗りを上げた現地の若者たちに任されており、彼らの自立の場となっています。



子供センター

情報労連三重県協議会は、従来のカンパやハコモノを作るだけで、実際には現地の人の役に立っていない活動ではなく、現地の人の自立を前提にカンボジア人の立場で物事を考え、真摯な姿勢で取り組んでいるBOCの活動に共感。情報労連東海ブロックの仲間と共に、積極的な支援活動を展開しています。今年2月には16名のメンバーがカンボジアへ渡航。組合員から寄せられた子ども服や楽器、歯ブラシ、バンドエイドなどのカンパ品を持参し、現地の子どもたちに直接手渡すことができました。また、NPO法人BOCのオープニングセレモニーも無事開催でき、子どもたちの自立に向けた支援活動ができました。

この経験を通して、参加者はそれぞれ国際的な視点を身につけることと同時に、今なお地雷による被害が後を絶たないカンボジアの実相を学び、いかに日本が平和であるか、戦争がいかに悲惨なものであるかを体感でき、人間としての感性を育ててくれたものと思っています。

BOC公式HP

http://www.geocities.jp/bright\_of\_children/



(全席自由・未就学児の入場は不可)

●内容/バラタナティヤムとは、インド古典舞踊において最古の伝統を誇るダンスのこと。南インドのヒンドゥー寺院から発生したこの舞踊は、神にささげる祈りとして、寺院の巫女たちによって長く伝えられてきました。エネルギッシュでダイナミックなステップと、驚くほどに繊細な指先や顔の表情。静と動の絶妙なバランスで構成された美しいダンスを、本場インドのヌリッティア・カラ・ケンドラ舞踊団(NKK)と、その本場インドで学んだ三浦恭子が主宰するNKKJapanがお贈りします。もちろん音楽も生演奏です。

●チケット取扱/三重県文化会館チケットカウンター

Tel.059-233-1122 他

●主催/(財)三重県文化振興事業団、三重県、三重県教育委員会



### The Circle (ザ・サークル) アコースティックコンサート2006

●とき/7月30日(日)13:00開場 13:30開演

●ところ/三重県男女共同参画センター多目的ホール  
(津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1122)

●参加費/1000円(小学生以下無料)

●内容/高石ともやとザ・ナターシャセブンのナンバーを中心にブルーグラス、カントリーミュージック、フォークソングやヒットソング等をアレンジして演奏します。バンジョー、ギター、マンドリン、フィドル、ドブコ、ウッドベースを使って演奏するアコースティック音楽です。

●申込・問い合わせ先/榎本 E-mail chiyoko@poem.ocn.ne.jp ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~chiyoko/thecircletop.htm>



### 地球のステージ(国際協力キャラバンin志摩市)

●とき/8月5日(土)14:00開場 14:30開演

●ところ/志摩市志摩文化会館大ホール ●参加費/無料

●内容/"世界の今"を知り、私たち一人ひとりが「平和な社会」のためにできることを一緒に考えてみませんか。「地球のステージ」は、1996年よりはじまった、ライブ音楽と大画面の映像、スライドによる語りを組み合わせた、まったく新しいタイプの「非営利」『コンサートステージ』です。山形県上山で精神科医をしている桑山紀彦氏がその案内役です。彼はこれまで53カ国を歩き、国際医療救援活動を展開してきました。

●応募締切/7月31日(月)

●申込・問い合わせ先/志摩市国際交流協会事務局(志摩市役所企画政策課内) Tel.0599-44-0207 Fax.0599-44-5252 E-mail kikakuseisaku@city.shima.lg.jp

(財)三重県国際交流財団(担当:筒井、高藤)

Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007

E-mail jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp



### 男女共同参画体験・体感講座

#### 『みんなが、ミュージアム』

●とき/8月6日(日)10:00~15:00

●ところ/桔梗が丘公民館

●内容/男女共同参画も、DV・児童虐待問題も、性別に関係なく人が人として、人生の舞台をおくることのできる社会づくりを、いっしょに考えてみませんか。当日はパネル展示、くるま座音楽会、アートな散歩道、男と女の料理教室、ボランティア相談・紹介コーナー、討論会などを行います。アートな散歩道と料理教室は事前申込と参加費1000円が必要です。詳しくはお問い合わせを。

●申込・問い合わせ先/518-0441 名張市夏見2812

名張市市民活動センター 気付NO.19 数本有喜子

Tel.090-5033-6551



### ガールスカウト日韓交流事業オープンデー

●とき/8月8日(火)10:00~15:00

●参加費/無料

●ところ/鈴鹿青少年センター(Tel.059-378-9811)

●内容/8月1日から9日まで、韓国のガールスカウト20名、指導者3名が三重県を訪問します。この機会に韓国の文化にふれ、併せてガールスカウト活動を体験してください。

●募集人数/先着50人(幼稚園児から大人まで)

●申込・問い合わせ先/梶浦昌子

Tel.&Fax.059-378-1750 E-mail mtk175@ybb.ne.jp

【ガールスカウト会員募集】

三重県内には8ヶ団のガールスカウト約350人が活動をしています。幼稚園年長から高校生まで募集中です。

●問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター気付 ガールスカウト日本連盟三重県支部事務局 Tel.&Fax.059-223-0236(火・金曜10:00~13:00)



### バスで行くディキャンプ

●とき/8月4日(金)8:45集合

●ところ/四日市まんなか子ども劇場事務所集合~青川峡キャンプパーク(いなべ市北勢町新町)

●参加費/大人3000円、小学生2800円、幼児1000円・バス代(幼児から大人)1000円

●内容/異年齢交流と自然体験を目的にディキャンプを行います。バーベキュー、川遊び、すいか割などを企画しています。

●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670



### ユニバーサルデザインとは?

#### 自分たちのまちを知ろう。まち探検

●とき/8月20日(日)10:00~15:30

●ところ/津市ポルタひさいふれあいセンター3階多目的研修室

●参加費/無料(昼食は準備します)

●内容/対象は津市在住の小学4~6年生。ユニバーサルデザインのまちづくりについて学び、車いす、視覚障害、聴覚障害、高齢者などの疑似体験後、まち探検をします。夏休みの自由研究にどうぞ。

●募集人数/48人(先着順) ●応募開始/7月10日(月)

●主催・申込・問い合わせ先/ユニバーサルデザイン久居(担当:高尾) Tel.&Fax.059-255-6127



### ネットワークのよびかけ

#### 障害児サマースクールボランティア募集!

“NPOどんど”では、松阪市より委託を受け、「障害児サマースクール」の一部を次の日程で開催します。子どもたちと一緒に音楽療法や工作などを楽しんでいただける方、ぜひお手伝いをお願いします。集合は現地ですが、希望者は近鉄伊勢中川駅から嬉野保健センターまで送迎します。申込み時に声をかけてください。傷害保険料と昼食代は、主催者負担。交通費、日当などはありません。当日の昼食は、子どもたちと一緒に食事をしていただきます。

●とき/7月31日(月)、8月9日(水)、8月17日(木)、8月24日(木)、8月30日(水) いずれも9:00~15:30

●ところ/嬉野保健センター(松阪市嬉野町1443-5)

●募集人数/毎回15人程度(1日だけでも歓迎です)

●応募締切/7月14日(金)

●申込・問い合わせ先/特定非営利活動法人久居市子育て支援



## H18年度日本自閉症協会三重県支部活動 ボランティアさん大募集!!

日本自閉症協会は、自閉症の人たちが、幸せな人生をおくってほしい、暮らしやすい環境を作ってあげたい、そんな願いのもとに活動を続けています。三重県支部の主な活動は、キャンプ、自閉症の理解を求めて講演会、星の街の音楽会です。その他、県内8ブロックに分かれて、それぞれの活動があります。このような行事を実施するにあたって、昨年度から、ボランティア登録をいただき、活動のご案内をさせていただいて、都合がよければ、参加申し込みをしていただくという形をとらせていただいています。教育・福祉関係の仕事を目指している方、そうでない方にも、自閉症児・者と直接触れ合っただき、一人でも多くの方に自閉症の理解を深めていただきたいと思います。また、すでに仕事で従事してみえる方は、そのノウハウを伝授して頂けるとありがたいです。

【現在ボランティアの方を募集している活動】

星の子(高機能部)よりディキャンプボランティア

●とき/8月2日(水) 9:30~15:30

●ところ/鈴鹿峠自然の家(亀山市関町沓掛1203)

●募集人数/約30人 ●申込締切/7月7日(金)

自閉症児・者キャンプボランティア

●とき/8月20日(日)13:00集合(昼食をすませてお願ひします)~21日(月)11:30解散

●ところ/津市青少年野外活動センター

●募集人数/約35人

(宿泊約25名、日帰り(20日20時まで)約10名)

●申込締切/7月17日(月)(定員になり次第)

自閉症の理解を求めて講演会のボランティア

●とき/8月24日(木)

●募集人数/託児ボランティア若干名募集

【自閉症協会ボランティア研修会】

●とき/7月9日(日)10:00~14:00

●ところ/あすなろ学園2階会議室

●内容/あすなろ支援センター職員さんのお話。DVD「自閉症の子供達~バリアフリーをめざして」観賞。親の体験談、座談会など。昼食は軽食を用意します。

●応募締切/7月5日(水)

●申込・問い合わせ先/519-0106 亀山市みどり町17-49

自閉症協会三重県支部(ボランティア担当:浜野芳美)

Tel.&Fax.0595-83-4956

## 米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

●受付締切/7月15日(土)

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動/「コミュニケーション」「世論」のための助成:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論、また映像などの各分野において具体的な問題について協力・研究するプロジェクト。但し、個人や営利団体は対象外です。

●応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2

霊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ http://www.us-jf.org

## (財)みずほ社会福祉助成

●受付締切/7月31日(月)消印有効

●助成の対象となる団体/【1、事業助成】原則として法人施設・団体、共同作業所等を対象とし、且つ1年以上の継続的、組織的活動実績のある先。

●助成の対象となる活動/社会福祉(障害児者(身体、知的、精神)関係)に関する民間の事業・研究。

●助成の額/【1、事業助成】年間総額3700万円程度。原則として1件15~100万円程度を限度とします。

●応募方法/所定の申込用紙を郵送。

●問い合わせ先/(財)みずほ福祉助成財団事務局 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 Tel.03-3201-2442

Fax.03-5252-8660 E-mail BOLON0683@nifty.ne.jp

ホームページ http://homepage3.nifty.com/mizuho/fukushi

※【2、研究助成】もあります。詳細はホームページ参照。

## (財)松翁会社会福祉助成金

●受付締切/7月31日(月)

●助成の対象となる団体/【a、事業助成】原則として法人施設、団体、ただし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。

【b、研究助成】法人施設、団体または研究グループ

●助成の対象となる活動/社会福祉の向上を目的とした企画であること。

●助成の額/年間総額1000万円程度。1件あたり原則80万円程度。

●応募方法/所定の申込用紙を下記ルートで申込む。なお、申込用紙の社会福祉協議会などのコメント欄は県または市町村社会福祉協議会か、県および市町村に記入を依頼してください。

1、県・指定都市社協(受付)一申請団体一松翁会

2、松翁会(受付)一申請団体一松翁会

●問い合わせ先/(財)松翁会事務局助成係 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階 Tel.03-3201-3225

## 第4回MPドリーム助成金

●受付締切/8月31日(木)必着

●助成の対象となる団体/三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ

●助成の対象となる活動/(1)学習会・研修会の開催(2)調査・研究の実施(3)福祉教育・ボランティア啓発の実施(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動(5)器具・器財の購入(6)その他

●対象事業の期間/平成19年1月1日~平成20年6月30日

●助成の額/1グループ20万円以内。40グループ以内。

●応募方法/申請用紙はホームページからダウンロード。応募は郵送にて。

●問い合わせ先/三重県遊技業福祉連合会(担当:山川・山添)

514-0006 津市広明町328(株)津ビル内 Tel.059-221-1677

Fax.059-227-7332

ホームページ http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyoo/

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ http://www.jfc.or.jp/

## 助成金 ニュース

### 農村景観・自然環境保全再生パイロット事業の公募

●受付締切/7月13日(木)消印有効

●助成の対象となる団体/NPO法人等

●助成の対象となる活動/主として農業振興地域であって、市町村が設定している田園環境整備マスタープランの環境創造区域等で行われる活動。

(1)景観保全活動(植栽、棚田の保全活動、石積水路の補修等)

(2)自然再生活動(生き物調査、水質モニタリング、水田魚道の設置、湿地の造成等)

●対象事業の期間/平成18年10月~平成19年2月末

●助成の額/活動にかかる経費の2分の1以内(助成上限額は150万円)

●応募方法/応募申請書は農村景観・自然環境保全再生パイロット事業公募細則等によります。詳しくは、東海農政局ホームページをご覧ください。申請先は(社)農村環境整備センターです。

●問い合わせ先/農林水産省東海農政局地域整備課 460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸一丁目2番2号 Tel.052-201-7271(内線



## プロジェクト CReAM

三重県尾鷲市栄町 5-33 TEL:0597-22-5554 月2回定例会(第2・4火曜) <http://crepm.exblog.jp/>

設立から1年、商店街の一角の空き店舗を改装してオープンした「カフェクリーム」を活動の拠点として、市民の手による地域を紹介するミニコミ誌『owasebon』の発行や活動資金調達のための『かゆい所に手が届く、プラスな生活のための講座』を行っています。

代表の端無(はなし)さんは、「楽しいことを仕掛ける」こと、活動の充足感といえる「自分たちの生活へのプラス」が、活動継続の基本姿勢としています。「必要性にかられて出来上がるものこそがホンモノ」と先を焦らず、少しずつ活動の形を整えていきます。

発行部数 2000部のおしゃれな地域情報誌『owasebon』。2006年には、お隣の旧海山町でも市民による『miyamabon』が創刊されました。隔月(奇数月)発行の制作費に10万円近くかかるので、コストダウンとサポーターの獲得(意中の広告)をとるのが大変。



## 東紀州コミュニティデザインセンター(HCD)

明治期に建てられた大同医院を修復・改造(リノベーション)した「大同楽座」を拠点に、東紀州地域の市民活動の中間支援をしています。さまざまなコミュニティや行政をつなぐサポーターとして、地域の人々が創り出すまちのワクワクを応援する仕組みづくりに意欲を持って取り組んでいます。



三重県尾鷲市中央町 7-1

TEL:0597-22-7033

E-Mail [hcd\\_secretariat@nifty.com](mailto:hcd_secretariat@nifty.com)

<http://www.smart-frog.com/hcd/index.html>

<http://hcdc.exblog.jp/>

## 松阪市市民活動センター情報

▼松阪市市民活動センター

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

TEL 0598-26-0108 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F

市民活動団体が運営するお店

**団体**  
**アピールショップ**

みんなの想いが  
形になりました

出店団体立案の催し

## 2006 希望の園新作Tシャツ発表会



大好評!希望の園アーティストによる新作オリジナルTシャツ展です。ユニークなデザインがいっぱい!一点一点にこめられたメッセージやユーモアは必見ですよ。

あさみまちづくり協議会準備委員会

## 大好評あさみ米

活動を知った広告代理店が、『あさみ米』を大手キッチンメーカーのショールームオープンに、来場者プレゼントに採用。3kg詰め400個を受注しました!パッケージも新しくなり、持ち帰りやすいサイズの無洗米(減農薬)が好評です。



## 民謡 北から南から

7月18日(火)20:00~

演目

- ・「ソーラン節」「尾鷲節」「秋田節」  
／松阪民謡コーラス
- ・沖繩民謡／あっこ(前高屋ねえねえ)
- ・エイサー／エイサーまつさが「八部衆」

エイサーまつさが八部衆の呼びかけでスタートする、めったに聞けない北と南の民謡セッションの第1回!仕事帰りに、畑帰りに是非お立ち寄りください。



夏休み  
企画

親子で楽しむ  
**琴合奏**  
こと がっ そう

参加者募集

8/12(土)

- 時間 13:00~約2時間程度
- 内容 コンサートや合奏体験など
- 対象 小学生とその保護者
- 定員 20組(40名)
- 参加費 お一人様 300円

- 会場 松阪市市民活動センター
- 締切 7月31日(月)
- お申込・お問合せは  
市民活動センター 担当/北西・澤



# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。鈴鹿市で青少年育成と文化の分野で活躍されている加藤二三子さんが紹介してくださったのは上野恵美子さん。津市にある七栗サナトリウムの緩和病棟で10年間、病院ボランティアを続けていらっしゃいます。

## 病院ボランティアの草分け

……ボランティアを始めたきっかけは？

大阪に住んでいた時、大阪淀川キリスト教病院に1962年末よりボランティアとして活動開始し、1963年3月より定期的にボランティア活動いたしましたのが始まりです。

……そうすると病院ボランティアの草分け的存在なのですね。

1963年よりボランティア活動にんさかし、10年ほど関わって参りましたが、その後病院の職員として勤務することになり、ボランティアも1974年日本病院ボランティア協会が結成されましたので、その時にボランティアからは離れました。でも、自分もまたボランティアに参加したいとは思っていました。

……以前から、緩和病棟ボランティアを考えていたのですか？

私が病院に勤務していた時が、ちょうどホスピス病棟の立ち上げ時期で、現在、金城学院大学学長の柏木先生たちによって1984年ホスピス病棟が開設されました。その間、「ホスピスって何だろう」という気持ちで関わり、いろいろな事を学びました。今、三重県の七栗サナトリウムでボランティアとして参加させていただき、感謝しています。

## 一人でも続ける…緩和病棟に通い続けた10年

……三重県での活動は？

定年後、三重県に帰ってきて、もう14年になります。夫がこの藤田保健衛生大学七栗サナトリウム(以下、七栗サナトリウムと略)で亡くなったこと、以前から緩和病棟に関心を持ってましたので、当時の看護師長さんをお願いして、ボランティアとして参加させていただくことになりました。

……上野さんが、初めてのボランティアですか？

私の前に看護師を退職された方がボランティアに来てくださったのですが、その方がお忙しくなって辞められました。ボランティアも募集したり、藤田保健衛生大学教授の松田真谷子先生が音楽療法を始められたりして、人が増えたこともあったのですが、いつの間にか私一人になってしまいました。それでも、このボランティアは続けなくちゃいけないと思ひまして10年やってきましたら、今年の暮

れからいろんな方が参加してくださることになりまして、ちょっと持ち直してきたかなと喜んでるところです。

……最近は様々な病院でもボランティアを受け入れていますね。受付の説明をしたり、患者さんを検査室などに誘導したり。知人も津市の病院でボランティアをしています。そちらもなかなかボランティアの方が定着しないようです。この病院でも募集はしていますが、なかなか人がいらっしゃいません。本来、ボランティアというのは地域の方たちが中心になって行ったり、育てたりするものだと私は思うのですが…。

……なぜ、定着しないのでしょうか？

病院側にボランティアを受け入れるノウハウが無いことも原因のひとつでしょう。三重県の緩和病棟のボランティアは七栗が最初だと思います。それまでは病院でボランティア活動をするということはありませんでしたし、病院側もボランティアを受け入れるのは初めてでしたので、育てるという意識は薄かったと思います。職員も、ボランティアもどうしたらよいのか、どのように声かけすればよいのかわからず、戸惑うことが多かったように思います。「おはようございます。今日もよろしく」と言うまでが、なかなかですね。「ボランティアに来てあげたよ!」という気持ちでは続かないと思います。私は病院全体がボランティアを受け入れられるように育てて欲しいと思います。緩和病棟だけでなく、リハビリを受けている方やいろいろな病気の方を支えるボランティアが必要だと思いますし、そのボランティアを病院全体で支えて欲しいなと思います。病院側としては、信頼できるかわからない方がボランティアに応募してきても困ると思いますし、最近はボランティア参加者に対して面接もしていただいています。そういう面では病院ボランティアとしてきちんと育てていくと思ひますが。

……いくつかある病院ボランティアの中でも緩和病棟ボランティアは特に大変では？

病院の中でも緩和病棟という所は特殊ですし、いろいろ難しい問題もあります。例えば今はガンの告知を受けたいと望む方が増えて、オープンになってきましたが、以前はボランティアの人にガンであることを第三者に話されるのではと思われたそうです。もちろん、ボランティアに参加する時に病院で知ったことは絶対に他言しないと約束していただきますが、ちょっと問題が起こったことも以前はあったようです。

……患者さんに接するのも難しいでしょう。

緩和病棟に来る患者さんは1年も2年も入院するわけではありせん。いらして1週間から10日。長い方でもひと月ほどです。今週お会いしてお元気そうだと思っても、来週にはお会いできない方もあります。ですから「元気出しましょう」とか、「頑張れば治りますから」と、普通の病院でなら言ってしまうがちの言葉は絶対に使えません。出しゃばってもいけないし、黙ったままでもダメ。その兼ね合いが緩和病棟は難しいです。マニュアルがあるわけでもありませんし、患者さんやご家族との信頼関係や個々で対応は違いますね。ただ、最近は入院されてる方と私の年齢が近くなってきましたので、話しやすいとおっしゃる方もいらっしゃいます。

……話をするといいもの、何を話せばいいのか…。

話の核心に触れるまでが難しいですね。だからしばらくはお天気や



上野恵美子 さんに 聞く



お花のお話をしたりして、患者さんがお話してくださるのを待ちます。「同じ様な年代の人が来てくれて安心だわ」とおっしゃってくださる方は、うち解けやすいですね。

……病院スタッフから情報ももらったりもするのですか？

関係性ができてくれば、「上野さん、あの方は食事ができないから、こうしてあげて」と指示してくれることもあります。また、看護長さんから「あの方とお話してみても」と言われることもあります。

……緩和病棟の場合、患者さんだけでなく、ご家族との関係もあると思いますが？

患者さんにはお医者さんや看護師さん、患者さんを支えるご家族の支え手は私たちボランティアだと思います。病室を出て、談話室などで折り紙を一緒に折ったり、お話を聞いたりします。時には患者さんから思いがけない言葉を言われて、泣きながら話を聞いて欲しいと言われた方もありました。プライベートなお話をうかがったりすることもありますから、遺族の方から、またいろいろな話し相手としておつきあいが続いている方もあります。

## 私には何もできませんけど、 ひたむきに生きたいと思いつつ、 今の年齢に達してしまいました。

……具体的にどんな活動をするのですか？

花壇の整備やお掃除など、病院の業務に値するようなことではなく、ボランティアとして動ける範囲です。それに、食事の前のお茶配り。この時は病室まで入って行きます。あと、毎週水曜日午後よりお茶を開いています。コーヒー、お菓子、軽い食事など手作り。第一水曜日は看護師さんのイベント係によっていろいろなイベントが行われますので、そのお手伝いです。7月は七夕で、たこ焼きやかき氷、ヨーヨーなどもありますよ。手が空いた時には看護師さんに「何かしましょうか？」と聞いて、手伝わせてもらいます。そうやって聞いていけば、どの時間にどのようなお手伝いができるのかわかってきますから、自分の行動もそれに合わせられます。それがわかるようになるまでが、少し大変ですけどね。

……活動日は？

毎週水曜日に来ています。以前に比べてバスの最終時間が早くなったので、朝9時に来て、午後5時まで活動しています。私も高齢ですから、その辺が限界です(笑)。

……新しく参加された方はどんな方ですか？

音楽活動をされていた方や別の病院にボランティアに行っている方もいます。あと、この病院でお連れ合いを亡くされた方もいます。カウンセリングの勉強をされた方もいらっしゃいますが、最初は「自分はカウンセラーだから」というつもりでなく、ほかのボランティアの方と同じようにイベントのお茶配りなどから始めていただいております。それでも活動日誌に、「散歩に誘っても、病院の人でないからダメと言われた。ショックだった」と書いてみえましたね。

……新人ボランティアの方に伝えたいことは？

「ボランティアに来ている」とかいう気持ちで来られると大変だと思います。明るく、常に笑顔で患者様、スタッフの方たちと接していきたいと思えます。

……「ボランティアをしてあげている」という気持ちで参加する方は

いるのでしょうか？

ボランティアを見学に来た方の中には驚くような方もいましたよ。ボランティアのお話をしようとしたら、一人いらっしやらないのです。どうしたのかと思ったら、別の方が「あの人はマッサージ機を使っている」と言われて唖然としました。ここのコミュニティームにはマッサージ機があるのです。スタッフの方に「上野さん、疲れたら帰る時にマッサージ機使ってくださいね」と言われますけど、言われてもなかなか使えるものではありませんし、自分から先に使いに行くなんてことは考えられません。そういう自分勝手な方に来ていただくと、みんな迷惑すると思いますし、ボランティアとしての意味はありませんね。

……逆に嬉しくて印象に残っていることは？

まったく言葉を発しない方がいらっしやったのですが、音楽療法の先生が来て歌を歌われた時に、その方がくちずさんだのです。その時はみんな、感動しましたよ。拍手が起こってね。これは緩和病棟でないと出会えない感動の喜びじゃないでしょうか。ほかに、食事をされなかった人が食べたって、ご家族が飛んできたり。その様子に接すると、この嬉しさは何物にも代え難いです。

## 癒しの精神を信じて

……一人になっても10年、活動を続けてきた。その想いの源は？  
一つは淀川キリスト教病院にいた時に見た、キリストの絵です。それはキリストが功労者の足を、ひざまづいて洗っている姿なのですが、それを見て、つねに自分が人より下にいるという気持ちを忘れないようにしようと思いました。また、マザーテレサのひたむきな愛を捧げるという気持ちも好きです。癒しの精神、癒しの言葉を信じてずっと今まできました。私には何もできませんけど、ひたむきに生きたいと思いつつ、今の年齢に達してしまいました。まだ、自分が40、50歳代だったら、もっといろんなことができるのではないかも思いますがね。

……ボランティアが生活の重要な部分になっているのですか？

自分の生活の一部です。たまたま、ここの緩和病棟でボランティアができるようになったので続けてきましたが、もし受け入れてくれる所がなかったら、大阪に戻ってボランティアをしていたと思います。

……大変なこともあったでしょう？

一日中、立ち通しで足がつるような時もありますけど、感謝と充実感。一日、何もかもを忘れて、ひたむきに過ごせたということが大きな喜びです。それに、良い方たちとたくさん巡り会えましたし、その人たちによって自分が生かされていることに感謝できました。本当にたくさんの方に支えられました。親しくなったご家族の方に助けももらったり、病院の先生や看護師さんたちが「今日は患者様たちに何を作ってくださいの？」と聞かれたり、「Aさんは何も口にできないので〇〇食希望なの」と、そういう話し合いの中で楽しくボランティアさせていただくことは、病院職員の支え、病棟事務職、多くの方々のご支援によるものと心から感謝しております。自分ひとりだったら何もできず、続けて来られなかったと思います。この病院のボランティアの雑誌を作った時、「コスモス」とな名付けました。コスモスのように皆で仲良く続けられますように。

上野恵美子さんはこの人を紹介します。

浜口素則さん

様々な施設や病院、町おこしイベントなどを舞台に、ボランティアで演奏活動をされています。



七葉サナトリウム

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。